

(別紙4)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年10月27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4392600062		
法人名	医療法人社団 栄康会		
事業所名	グループホーム菊陽スマイル かえで棟		
所在地	熊本県菊池郡菊陽町原水1019-1		
自己評価作成日	平成 27年 10 月 26 日	評価結果市町村受理日	平成28年 1月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/43/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/43/index.php</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社アクシス
所在地	熊本県熊本市南区八幡9-6-51
訪問調査日	平成 27 年 11 月 10 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>当事業所は医療法人である医療面においては協力体制が整っている。H23年3月に開所し職員一同、入居者様の安全、安心ある暮らしを支援するため、その方の出来る事、出来ないことを見極め、個々の能力に応じ、その方が主役となれるよう支援し、理念に沿ったケアを行い、全体会議や運営推進会議でも意見を頂き、運営している。楽しみである食事の食材は法人の農園で作られた減農薬の新鮮な米、大豆、野菜、根菜類などを提供しています。職員は入居者様の尊厳保持に努め、穏やかに過ごして頂けるよう又健康管理、状態把握に努め、御家族様との連携も取りつつ安心していただける様にチームワークを図り質の高いケアに取組み、笑顔ある暮らしを支援しています。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所では、かかりつけ医・専門医への受診介助を行っています。些細な気付きや変化を見逃さず正確な情報を伝えることで、適切な医療が受けられるようにする為です。また、さくら棟の管理者が看護師ということもあり、急変時における迅速な対応も可能となっています。</p> <p>調査当日はかなりの時間を取って、2名の職員から聞き取りを行いました。経験の差こそあれ、自分で考え、先輩職員の対応をつぶさに観察し、判断しかねるところは相談しながら利用者との信頼関係づくりに取り組んでいる様子がかがえました。事業所は、統一したケアを目指しています。職員が育つことでサービスの質の向上が可能になると思います。</p>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様の意思を尊重し、穏やかに過ごして頂けるよう統一したケアを行い支援している。基本理念を掲げ入居者様が中心となる生活が送れるよう意識しながら支援している。	事業所では4項目から成る基本理念を掲げ、職員ひとりひとりがいつでも振り返り、また初心に戻ることが出来る様にスタッフルームや廊下に理念を掲示し、サービスの質の向上に努めている。	理念の中の一つに統一したケアが謳われており、全ての職員のスキルアップを目指しています。職員の聞き取りからも努力の様子がうかがわれましたが、今一度、組織としての支援の在り方も検討して欲しいと思います。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	地域の方にもホームで行われる慰問に出席して頂いている。その際、入居者様と話をされたりし交流を深めている。	近隣の方々との日常の挨拶やボランティアによる太鼓演奏会など、機会を見て地域の方々にも声を掛け、交流に取り組んでいる。	基本理念の一項目にも、地域との結びつきの大切さについて謳われています。運営推進会議等で地域の情報を収集し、身近なところから実践につなげて欲しいと思います。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホーム見学、ボランティアで来られた方、面会者様等へ認知症の人の理解や支援の方法を分かり易く説明している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、会議を開催している。関係者各位様、ご家族様が出席して頂いている。状況報告を行い取り組みへの回答を行っている。また、各委員様への質問を行い指導して頂き、サービス向上に努めている。	運営推進会議は、さくら棟・かえで棟合同で奇数月の木曜日に開催している。主な内容としては、利用状況や利用者の状態、事業所の取り組み等について報告し、質問やアドバイスまた意見交換を行っている。	会議には区長2名、民生委員2名が出席されています。地域の情報に一番詳しい方々です。この場を利用して、認知症の種類や特徴、またその支援方法等々、事業所の力を生かした取り組みを期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	質問、報告等の案件が発生した場合には、その都度、連絡を取り連携を図っている。取り組みの説明は、運営推進会議の場で詳しく説明している。	運営推進会議には、町の担当者も出席しており、利用状況や事業所の取り組み等について詳細な説明を行っている。また、管理者は町の事業計画作成員にもなっており、町の担当者とも良好な関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部で開催される勉強会に出席している。その後、職員へ勉強会で学んだ事を報告、協議している。職員の悩みや訴えが聞きやすい関係を作りスタッフがストレスを溜め込まないよう話し合いを行っている。	年に2回は勉強会を行い、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。また外部研修会で学んだことは、職員に復講するようにしている。職員からは、まだ経験が浅いということで先輩を手本として、現在鋭意勉強中とのことであった。	

7	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者は、虐待防止等の研修に参加しており、定期的に職員に対して勉強会を行っており周知、徹底に努めている。</p>		
8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>勉強会を行い、制度について学び知識を深めている。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>まずは、ご本人様、ご家族様にホームを見学して頂いている。質問等に答え納得して頂いた時点で、更なる説明を行い契約を行っている。</p>		
10	6 <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族様との信頼関係を築き気軽にお話ができる雰囲気、信頼関係が出来ている。ご家族様の面会時に日頃の状況報告を行い要望等を伺い実践している。</p>	<p>玄関に意見箱の設置や第三者苦情相談窓口のポスターを掲示している。その他家族の面会時を利用して、要望の聞き取りを行ったり、コミュニケーションづくりに取り組んでいる。職員からの聞き取りでは「まずは世間話から始めて信頼関係が築ける様、取り組んでいる」という話が聞かれた。</p>	
11	7 <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員間との会話が気兼ねなく出来るよう職員と接する時間を多く取っている。何事でも伝えやすい雰囲気作りを心がけミーティング等の場で管理者、職員の意見交換を行いより良い環境作りを</p>	<p>管理者は、職員との会話を大事にしており、何でも言える雰囲気作りに取り組んでいる。また、職員からも話し易い、相談し易いという話があった。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>業務内で職員の入居者様に対する対応、業務に取り組む姿勢を観察し評価している。残業手当の支給、また、資格を取得した際に手当として支給し、やりがい、向上心が持てる職場環境作りの整備を行っている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>希望する研修が開催される際に職員からの参加希望があれば出席出来るようサポートしている。勉強会の案内が送られてきた際に職員に報告し希望者を募りスキルアップ出来るよう支援している。</p>		

14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	定期的開催されるグループホーム連絡会に出席している。他事業者の担当の方と疑問、質問等の話し合いを行い、サービスの質の向上に繋げている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に面談を行い、本人様、ご家族様の思い、訴えを傾聴し安心して頂ける様、要望の聞き取りを行っている。時には、数回、本人様との面談の機会を設け安心して頂ける様な雰囲気、関係作りが築けるよう努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の不安、要望等を伺い、その問題に対する解決方法、支援について納得して頂けるよう丁寧な説明を行っている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様の希望する用件を注意深く聞き取り、その方に最善であるサービス内容を提案、丁寧な説明を行い支援できるよう努めている。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	これまで生活されてきた経緯等を踏まえ、人生の先輩でもある入居者様への尊敬の心を持ち接している。その積み重ねにより信頼関係を築き支援している。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の協力もありより良い支援が出来ている事を認識し感謝の気持ちを忘れないようにしている。ご家族様からの質問、悩み等を傾聴、共感し信頼関係が強く築けるよう努めている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様より外出の希望があった際には、日時調整を行い支援している。ご友人、ご家族様等の面会があった際には、ゆっくりと過ごして頂ける様な環境を整えている。	基本理念の一項目に家族や地域との結びつきの大切さが謳われている。最近では、元々近所に住んでいて仲人をして下さったという方の面会もあったようで、今後共積極的に関係継続の支援を行っていくとのことである。	

21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご本人様の趣味、特技等を知り、日常生活の中で他入居者、職員と共に行えるよう環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されてもお見舞いに行き会話する時間を持ち状況を把握している。退所された、ご家族様からの相談、訴え等の話を傾聴している。また、その後の様子を伺い支援している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様とのコミュニケーションを多く取り多くの情報を得て穏やかに生活できるよう支援している。意思疎通の困難な方に関しては、表情等から読み取りご本人様に適している支援を検討している。	日々の係わりの中で表情や会話の中から思いや意向を推察し、本人本位になるよう支援している。職員からは「“昨日はこうだった” からと自分の思い込みで動かない様にしていないことと、先輩職員の話等も聞きながら意向の把握に取り組んでいる」という話があった。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前に頂く情報提供書、ご家族様からの情報を参考にする。ご本人様とのコミュニケーションを多く取る事で本人様の生活歴等の情報を収集し、穏やかに生活できるよう心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の表情や状態の変化を見逃さず状況観察を行っている。情報を共有し統一したケアの実践に繋げている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月モニタリングを行いご家族様へ報告している。その中で質問、要望等を聞きだしより良い計画書が作成できるよう対応している。日常の状況を注意深く観察し職員間でカンファレンスを行っている。	事業所では、2人の職員が3名の利用者を担当する体制を取っており、毎月モニタリングを行っている。その結果は家族にも報告している。介護計画の作成にあたっては、まず計画作成担当者が試案を作成した上で、面会時や支払い時等を利用して家族との意見交換を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態観察、気づき等を確実に支援経過記録に残している。状態に大きな変化等が見られた際には、カンファレンスを行い介護計画の見直しに繋げている。		

28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員から気づきの情報が伝わり易い現場状況になっている。担当者を交えてのカンファレンスを行い、その時に必要なサービスの選考が出来る。		
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	慰問の際には、近隣の住民の方も参加して頂き、入居者様と一緒に楽しく過ごせるように支援している。		
30	11 ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様、ご本人様の希望を伺い、かかりつけ医への受診を行っている。日頃の生活状況を詳しく報告し連携を密に取っている。Drからの的確な指示により安心して生活を送る事が出来ている。	事業所では、本人・家族が希望するかかりつけ医との関係を尊重しており、受診介助も行っている。日頃の詳細な状態や医師との連携を深めることで、適切な医療が受けられる様支援している。また、中には毎月往診してくれるかかりつけ医もあるとのことである。	
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日バイタルチェックを行い様子観察を行っている。体調の変化に気づいた際には、看護師へ報告、日中・夜間の急変時にもオンコールにて対応できる体制をとっている。		
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には主治医、各関係者との情報交換を密に行い連携している。また、入院された際には、見舞いに伺い声掛けを行い安心して頂けるようサポートしている。		
33	12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りについて契約時に説明を行っている。重度化された場合、ご家族様と話し合いホームで支援できる事を説明し出来る限り意向に沿った内容で納得して頂けるよう努めている。	入居契約時に看取り方針についても説明を行っている。これまでに一例の看取り実績があり、その経験からもかかりつけ医との連携強化がとても大事であると考えている。医療依存度が高くなった場合、事業所として出来ることを説明し、出来るだけ意向に沿う方針ということである。	最近の調査では、看取りに立ち会った職員の8割が何らかの悩みを訴えている等の報告もあります。看取りケアの重要性が指摘される中、どのような準備が出来るのか、再度検討をお願いします。
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故発生時の対応マニュアルを作成している。勉強会を開催し日頃から入居者様の状態変化、気づきの力を養うよう注意をしている。		

35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練を実施している。消防署職員の立会いのもと訓練を行い指導を受けている。近隣の住民の方にも参加して頂き協力体制を築いている。	年に2回実施しており、そのうち1回は夜間を想定し消防署立ち会いのもと行っている。訓練にはすぐ隣の民生委員や区長の参加もお願いしている。また非常時の備えとして、飲料水、カップめん、缶詰、コンロ等を行っており、大体3日分となっている。	こここのところ想定外の災害が多発しているように思われます。職員の話でも「こういうことは起こらないだろうと予断を持たないようにしている」という話がありました。日頃の訓練の重要性を再認識し、地域の協力体制づくりに更に取り組んで欲しいと思います。
----	----	--	--	---	--

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊敬の念を持ち、これまでの人生の歩み経験等を尊重し共に過ごさせて頂いている。声掛け、対応に十分注意し尊厳を持った対応をするよう心がけている。その方の意思を尊重し否定をせず訴えの傾聴、共感を行っている。	人生の先輩としての尊敬、また家族の思い等も考慮し、失礼のない言葉使いや誠実な態度での対応を心掛けている。声掛け次第で不穏になることすらあり、同じ目線での声掛けを心掛けている。その他利用者の意志を尊重し、否定することなく傾聴・共感に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行動する前に声掛けを行い本人様の意思確認を行うようにしている。同じ目線に立ち分かり易い説明、対応を行い自己決定を促している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の意思を尊重し相手の立場に立ち考え行動するよう心がけている。決して急がせず、否定せずの心を持ち、入居者様のペースに合った対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類を自身にて選択できる入居者様には、選択して頂き自己決定を促している。化粧をされる入居者様もおられ、その方に合った支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニュー作成時に季節毎の食材を使用している。食材の皮むき、味見等をお願いし楽しみのある日常生活が送れるよう支援している。	法人では米や野菜の減農薬栽培を行っており、そこで収穫した新鮮野菜を利用した食事の提供を行っている。調理は職員が担当しており、皮むき等の下ごしらえ、台拭き、お盆拭き等出来ることは利用者の能力に合わせてお願いしている。食事形態は、利用者の能力に合わせたものとなっており、全利用者が介助なしに自分のペースで食べておられた。	

41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	咀嚼、嚥下状態に応じた食事形態で提供している。食事量、水分量のチェック表を作成し確認を行っている。また、栄養バランスを考えた献立を作成している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯ブラシ、舌ブラシを使用し口腔ケアを行っている。義歯使用の入居者様は夜間、消毒を行い清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し排泄パターンを確認している。定期的にトイレ誘導の声掛けを行っている。便座に座って頂き自然排便を促す支援をしている。	ひとりひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を支援している。夜間おむつ利用の方でも昼間はリハビリパンツを利用し、トイレでの排泄を支援することで、おむつ使用枚数の削減に努めている。職員から「時間だけでなく立ち上がる、そわそわする等の動きのある方もおられるとの事である。介助動作はひとつひとつ声をかけて、確認の上行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	まずは、身体を動かし活動し水分を摂取して頂くようにしている。また、乳製品を提供するなど工夫を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人様の意向に沿って入浴介助を行っている。自分で洗身、洗髪が出来る方には、ご自身にて行って頂いている。入浴拒否が見られる方には、毎日、入浴の声掛けを行う等の対応を取っている。	個人浴となっており、回数的には週に2~3回を予定している。お湯については皮膚疾患等があらわれる方の場合入れ替えているが、一般的にはかけ流しの状態での対応となっている。職員からの聞き取りでは、無理強いはいしない様になっている事、脱衣所に行ってもらうまでの声掛けを工夫していること、湯加減の確認は自分で触ってもらうか、無理な場合は足にかけて確認してもらう様にしている」ということであった。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方の身体状態に応じ臥床時間を設ける等の支援を行っている。日中、活動する時間を設け覚醒を促し夜間帯に良眠できるよう支援している。		



47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人の内服薬の処方箋が分かるファイルがあり職員が閲覧し副作用等の注意点が把握できるようにしてある。与薬の際は、声に出し職員間で確認を行っている。状況変化が見られた場合、主治医への報告を行い服薬調整、指示を受けている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ご本人様、ご家族様より趣味等の生活歴を伺い、その方に合った支援を提供している。お手伝い等をお願いし感謝の気持ちを伝える事で充実した生活を送れるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気の良い日などにはホームの周りを散歩し気分転換を図っている。ご家族様と外出され食事等をされたり協力して頂いている。</p>	<p>事業所では、ひとりひとりの希望に添った外気浴支援に力を入れており、外に出る機会を増やすためにプランターで野菜づくりを行っている。その他、家族の協力でドライブに出掛けたり、一時帰宅をされる方もおられるようである。</p>	<p>事業所は、とても環境に恵まれた場所にありまます。この環境を生かして、特に希望の少ない利用者の外出支援（日光浴等含め）に取り組んで欲しいと思います。</p>
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>職員が管理を行っている。物品購入時には、ご家族様へ連絡し了承を得て購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者様の希望に応じ電話連絡を行えるよう対応している。ご家族様からも電話があり、いつでも取り次げるよう対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペース等には、余分な物品を置かず広い空間作りに努めている。各居室の入り口等に季節毎の飾り付けを行う工夫をしている。</p>	<p>天井には明り取りが設置され、事業所内はどこも一応に明るく、穏やかな雰囲気であった。手摺りや取っ手などは定期的に消毒しているとのこと で、トイレも含めて異臭等は全くないようである。これから乾燥する冬場には、次亜塩素噴霧除菌装置を設置し、より一層室内環境の整備に取り組むようである。</p>	

53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各入居者様に応じた場所があり落ち着いて過ごして頂いている。居室にテレビを設置され自由に行き来されている入居者様もおられる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人様、ご家族様と相談しながら居室内の物品配置を行っている。写真や使い慣れた家具等を置き安心して過ごせるよう居室作りをしている。</p>	<p>居室の基本的な設備は、ベッド、空調機器、カーテン、コルクボードとなっている。コルクボードには、写真や絵等を簡単に留めることが出来、居心地の良い部屋づくりが出来ようになっている。その他、チェストや調度品等は、使い慣れた物を持ち込む事が出来る。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各入居者様の能力に応じベッドに介助バーを取り付ける等の支援を行っている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない